

# 1. 権限管理機能について

- 以下、いずれかの案、若しくは同等の柔軟な権限設定を可能とすること。

[案1 ユーザ作成時に画面から機能毎を選択して設定可能とする。]

機能	ユーザA	ユーザB	ユーザC	ユーザD	ユーザE
容量拠出金(算定・通知)	○		○	○	
容量拠出金(請求)	○	○			
容量確保契約金額(算定・通知)	○			○	○
容量確保契約金額(支払・請求)	○			○	○
共通(入金・出金・残高管理・財務会計への連携)	○				○
リクワイアメント・アセスメント	○				
ペナルティ	○				
連絡・通知	○				
算定要素の取込・変更・取消・閲覧	○				

本表記載内容に加え、承認権限は別途付与できるようにする。  
(作業者と承認者を分けるため)  
広域機関及び事業者双方を対象とする。

※具体的な機能の区分については設計工程で定めるものとするが、機能数については、本表記載の数を前提とする。

[案2 事前に以下の権限パターンを作成したうえで、ユーザ作成時に適用するパターンを選択して設定可能とする。]

機能	パターンA	パターンB	パターンC	パターンD	パターンE	パターンF	パターンG
容量拠出金(算定・通知)	○	○	○				
容量拠出金(請求)	○	○					
容量確保契約金額(算定・通知)	○			○	○		
容量確保契約金額(支払・請求)	○			○			
共通(入金・出金・残高管理・財務会計への連携)	○					○	
リクワイアメント・アセスメント	○						○
ペナルティ	○			○	○		○
連絡・通知	○	○	○	○	○	○	○
算定要素の取込・変更・取消・閲覧	○						○

本表記載内容に加え、承認権限は別途付与できるようにする。  
(作業者と承認者を分けるため)  
広域機関及び事業者双方を対象とする。

※現時点具体的な機能やパターンの区分については設計工程で定めるものとするが、機能数、パターン数は本表記載の数を前提とする。